(大正八年三月七日第三種郵便物認可)　昭和五年四月二日　THE IWAKIJIHO　(水曜日)　第四千八百五十九號　(一)

一夕刊日刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
發行所　福島縣石城郡平町紺屋町十五
磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
一日刊（日曜、祭日休刊）

回春園の牛乳問題で 渡邊課長批難さる

小濱長太郎氏の請托を容れ 而も一合一錢の値上げ

石城郡豐間村縣立回春園が大正八年創立された當時差入れの牛乳屋がなくて困るといふので高久村大字下高久に志賀牛乳店を設けさせ同牛乳店から昭和三年まで一日一合入百本即ち一斗宛差入れさせてゐたが、昭和三年から小濱長太郎氏經營の牛乳を半分入れる事となつたため兩者が競爭の結果價格もその當時迄一合六錢であつたのが四錢となり一合につき二錢の値下げとなつたので縣並に患者は非常な利益を見てゐたが、川井園長が退き渡邊衛生課長が回春園長となるや回春園と姉妹關係にある志賀牛乳店の差入れを拒絶し全部小濱長太郎氏の牛乳を使用する事とし價格を一合五錢に引上げたが、志賀牛乳店の牛乳を拒絶した表面の理由は一看護婦の輕率な言に過ぎず、試驗の結果は双方の牛乳が全く同等で寧ろ志賀牛乳店の方が優れてゐるとさへ言はれてゐるのにかゝる行動に出でた事について渡邊課長は目下種々なる問題について騷がれてゐる際なので非常に批難攻撃の的となつてゐる。

御馳走酒に醉つたといはるゝ 渡邊課長を糾彈

縣議鈴木辰三郎氏出縣

回春園の牛乳差入れを拒絶されこゝにありと考へてか昨三十一日渡邊衛生課長の行爲を糾彈するため縣議鈴木辰三郎氏と共に出縣した。

その裏面を調査した處、渡邊衛生課長は小名濱町料理店山口屋に於て一回に亘り馳走になつた上酌婦を回春園官舍にまで引き入れ馬鹿騷ぎを演じたといふやうな事まで耳にしたので、原因

平町學務委員 八名任命

平町四年度末の町會は昨報の如く三十一日午後二時半から出席議員廿八名を以つて開會第三小學校道路工事七千七百二十五圓外二件の同工事五萬余圓、四年度執行を五年度に延期すべき十二號議案を可決し十三號議案上水道擴張工事費二十萬六千三百七十五圓の追加豫算案附議に入つたがさきの豫算町會で工事認可の上提出してもよいといふ見解の下に撤回した議案なので當局は認可の上絕對決議を必要とするが故に撤回は出來ぬと答へ今年の間に合はぬので花に促さるゝだけ一般に氣を揉んでゐる。

平水道擴張案 平町會で可決

然し認可がない場合には 豫算を遂行しない

の水道部技師柴田爲治氏を解職することゝし原案を可決した。

平町の櫻 例年より早い

平町松ヶ岡公園及新川端の櫻は過般來の温暖で例年にない早咲きで三十日の日曜日は散策の人々を喜ばせた、三日の祭日には咲揃ふべく六日の日曜日あたりは滿開氣配で遲に花見氣分が漲つて來たが電燈裝置が會社の手を離れたのではかどらず愚圖々々してゐると今年の間に合はぬので花に促さるゝだけ一般に氣を揉んでゐる。

平町の 中等校開校式

左の如く決定した。

萩原義雄、佐々木龍若、鈴木光吉、井上茂作、青沼鉾太郎、佐藤一、竹我直治、赤津千里

▲平署會計査閲

縣會計課境田屬外一名は三十一日平署の會計事務査閲を執行したが各般に亘り諸帳簿の整理は成績良好であつた。

學式は左の如くである。

▲磐城中學校五日午後一時▲同島等女學校五日午前九時▲石城佑賢學舍五日午前九時▲平陽女學校五日午前九時▲藤田女學校五日午前十時▲平産婆校八日午前九時▲石城産看校八日午前九時

▲傳染病委員

平町傳染病委員は改選の結果荒川淺次郎大森勇兩氏に決定した。

▲佐々木氏寄附

平町四軒町佐々木龍若氏は母堂の死去により五十圓を平町小學校に寄附した。

▲第三校に寄附

平町鎌田町板倉ためのは今回開校された第三小學校に雜巾二百枚を寄附した。

賃金未拂の炭礦を 平署で絕えず警戒

財界不況に祟られて 四苦八苦の常磐炭礦

常磐地方に於ける大小炭礦は消費節約の影響を受けて徹底的に營業炭の賣れ行き減を來たし經營いよいよ困難を告げるに至つたゝめ大炭礦の事業縮少、從業員の整理等小炭礦はベストとして地方小賣の開拓を計る等前後一時知己を招待し開業五週年紀念を兼ね披露をなすと。

上田醫院 改築披露

平町南町上田外科醫院上田耕作氏は平町に開業以來日に增し隆盛に向ひ從來病舍の狹隘を感じ過般來病舍その他新築中であつたが竣工したので四月十三日午後一時知己を招待し開業五週年紀念を兼ね披露をなすと。

不正商人防止のため 山間部に繭取引所

四倉市場出張所設置

石城郡永戸、箕輪、三坂、澤渡喜ばれてゐる。

の山間方部は交通の便が惡く附近に理想的繭市場がないので養蠶期になると交通不便を奇貨として不正仲買商人が多く入り込み、そのために迷惑を蒙つてゐる養蠶家が非常に多いので養蠶同業組合等では山間方部における不正仲買商人の跋扈を取締りつゝあつたが、同方部に繭市場がない事が不正仲買人の入り込む原因なので同方部における養蠶家はそれ〴〵協議した結果繭市場を新に設置する事は至難事であるから此の際石城販賣利用組合と協議し同組合經營四倉繭市場の出張取引所を永戸村大字合戸に設置し本春の收繭から取引をなす事になり目下準備中であるが、同市場出張取引所が設置される事になれば從來養蠶家が惱まされた不正仲買人も入り込まなくなるものと各方面から

花どきを前

原町通信

原町花柳界紛擾

花どきを控へて原の町藝妓屋組合と旅館料理業組合に爭ひが起つた……六軒の藝妓屋では四千圓餘の玉代が未拂ひではこの不景氣に動きがとれず整理をつけるために斷然ハコドメをするといふ强硬な態度に出た、旅館料理屋側もお客さんが現金勘定ばかりある譯ではない、それで今月一ぱいに當月分七百廿圓を完納するからといふ約束で兎がついた

▲原町地方米價

原町地方の米價は下落一方で現に十圓臺（四斗入一俵）を割り九圓六七十錢の取引きである、農村は目下肥料購入期にあるため泣く〳〵手放して居り農民は全く窮り切つてゐる。

▲勿來校舍賣却

石城郡勿來町ではいよ〳〵濱小學校が惱まされた不正仲買人も入り込まなくなるものと各方面から

現金持逃げ小僧

五町目で發見

平署へ捜索願

平町字立町居住千葉縣勝浦生れ及川寅之助(四五)長男一郎(一五)同義郎(一二)の兄弟は東京府下大森町大字北原鑵結營業池田惠三郎方に本年二月十日雇はれ中主人から他に支拂ふべく命ぜられた三十圓を横取り前記勝浦の自宅へ兄弟して逃げ歸り寅之助も漁夫の身で生活に困るので奉公先の前借金なども解決せず家族を連れて前記平町立町に轉居し日雇業をしてゐたが三十

春の雪

吉田松雨

朝まだき庭木のなかに小鳥來て雪かきにつゝ何か食べ居る
朝より降れど積らぬ春雪の雨となりたる夕寂しき
春雪の庭箒むらにみそさゞい小枝たゆませつしばらくは居し

一日午後三時頃一郎が所用のため本町五丁目釜屋商店街道を通行中營業外交に平町に出張した池田とバヅタリ出遭つたのを幸ひに前記始末を片付んとしたが一郎は素早く何れへか逃走し家族もそのことを知つたけれども行衛がわからず池田は直に平署に捜索方を願ひ出した。

鼻の藥「チクノール」
平五　山野邊藥局

▲**落盤て壓死**　石城郡好間村大字北好間字小田炭礦坑夫山口藤太郎(三六)は二十七日午前二時半頃坑内で作業中落盤で壓死した。

春……春の味覺は
斷然上戸の食堂
おはんから……
回のり巻　本日から相初めました
小料理食堂
おはん
二丁目　越乃家隣
御さしみ……廿五錢
山かけ……廿五錢
月見……十五錢
すの物……十五錢
のり巻……十五錢
御酒……大廿五錢　小十五錢
其の他季節小料理

カバン　鞄　帽子(ボウシ)
入學進級には
ゼヒ「ツルヤ」へ
新しい丈夫な品が得られます
平町四丁目【電話一四〇】
ツルヤ

第二十四回生徒募集
一、入學資格　高等卒業又は之と同等以上の學力あるもの
一、卒業は　産婆、看護婦通じて一ケ年
一、申込期日　四月八日迄
平町(電話三〇七番)
平南産婆看護婦學校
校長　清野キヨ

信州善光寺團体參拜大募集
一、本年は　三國一の靈場、善光寺阿彌陀如來七年目の御開帳に相當し、如來結緣の爲め廣く參拜講員を募ります
一、善光寺は　有名な尼寺の名刹特に御婦人方の參拜を歡迎し歩行の場所無き故老人の方も行かれます。
一、出發期日　五月二日午前五時二十分平發上野驛乘替。長野驛着驛前より善光寺門前まで自動車。
一、善光寺二泊　早朝歸路に就き信越本線乘車、新津、郡山經由平驛着解散其の日の内に歸宅されます。
一、募集人員　定員貳百名限
一、申込締切　四月二十日
一、費用　乘車賃及二泊料其他一切にて金拾七圓也(但し昼の中辨當は各自負擔の事)
一、申込の際　金貳圓納入なし殘金は四月末日までに納入右は大要を申上げたまでゞす、詳細は申込所にて御聽取の上書面又は口頭にて即時御申込下さい定員に滿つれば御斷りいたします。
申込所　石城郡好間村長壽院
後援　信州善光寺坊　白土賢隆　福生院

新學期開始
賣廉大計時腕
四月一日ヨリ廿日間
學生向……落しても狂はぬ
安心してお持ちになれる
トキワヤの時計
特賣品……
クローム8形ス井ス製アンクル
寶石十五個入腕時計
¥7.80より
クローム10形ス井ス製アンクル
寶石入腕時計　¥7.25より
大特價品
クローム10形スキス製腕時計
¥4.10
……全部絶對保險付……

外科一般
產婦人科
醫學博士　藤本順
院長　木村寅次郎
平町新川町(電話一六四)
病室完備
入院隨意
木村病院

春季第一回愛讀者慰安會
東京大歌舞伎　久方振りの御目見得
名題　市川壽美十郎大一座
名題　尾上梅車
當る本日初日惣幕出揃
午後四時花火合圖開場
後援　磐城時報社　磐城新聞社　平町各新聞販賣店一同
聚樂館
外新顏數名加入
新加入

徒弟募集
一家具　見習徒弟　五名
本年尋常又は高等卒業者
右志望者は履歴書御送附を乞ふ
平町
丸ほん家具店
製作部

新入學期と時計
時計は大谷
器械部戰線異狀なし
優良なる器械で安く
殊に學生は元價提供
平電話一九三番
大谷時計病院

生花商花友
平町字十丁目(電話三三六番)
八田與市
丹後澤舟遊會
丹後澤鯉養育所

印刷物は……加納活版所